

## 平成31年度 年間授業計画

- 1 学年・科目・単位数  
第3学年 原動機 2単位
- 2 担当教員
- 3 教科・科目のねらい  
原動機の構造と機能に関する知識と技術を習得させ、原動機を有効に活用する能力と態度を育てる。
- 4 年間授業計画

学期	単元（授業内容／時間）	重点項目	評価の観点
1	エネルギーの利用と変換 エネルギー利用の歴史 こんにちのエネルギーと動力 流体機械 流体の基本的性質 計8～10時間	エネルギー利用の歴史を理解する。こんにちのエネルギー事情について理解し考える 流体の基本的性質について理解する。	⑥に記入
	流体機械 圧力・絶対圧とゲージ圧 管路の流れ 計10～15時間	圧力について理解し、力・面積・圧力の関係と計算方法を理解する。 パスカルの原理を理解し、圧力の表示方法を理解する。 流体の流れについて理解する	⑥に記入
2	流体機械 管路の流れ 流体のエネルギー 計8～15時間	流量・流速連続の式を理解する。 流体が持っているエネルギーについて理解し、計算で求められるようにする	⑥に記入
	流体機械 ベルヌーイの定理 エネルギー損失 計8～15時間	ベルヌーイの定理について理解し、計算できる力を身に着ける。 流体の摩擦などによるエネルギー損失について理解する。	⑥に記入
3	圧力の測定 マンローによる測定 その他の圧力計 計10～15時間	さまざまな圧力測定方法について理解する。	⑥に記入

- 5 使用教科書・副教材他  
原動機（実教）

- 6 評価方法・観点

年5回の定期試験の結果 ・ 学習態度 ・ 提出物 ・ 出欠 ・ 小テストを総合的に判断し評価する。

※なお、上記は予定であり、行事等により一部変更になることがある。